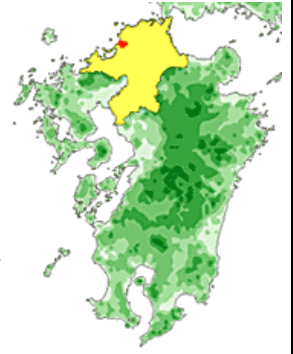




福岡県古賀市



古賀市駅東1丁目1番1号
 担当課：保健福祉部予防健診課
 〒811-3116
 ☎092-942-1151 FAX092-942-1154
<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>
 Eメール：yobou@city.koga.fukuoka.jp

本市のデータ

(1)面積 42.11km²

(2)人口

	昭35国調	平17国調	平22国調	平24住基
人口	18877	55943	57920	58445
高齢化率			19.2	

(3)沿革

	昭35国調	平17国調	平22国調	平24住基
世帯数	3705	19768	21517	23168

(4)沿革

昭30.4.1合併 古賀町・青柳村・小野村→古賀町
 平9.10.1 市制施行

(5)産業構造

(百万円・人・%)

区分	総生産額		就業人口	
	1次	2次	1次	2次
1次	548	0.3	556	2
2次	79,612	43.6	6914	25.3
3次	104,149	57.1	18745	68.7
利帰子属	-1,881	-1	-	-
計	182,429	100	27300	100

本市の概要

九州北部に位置する福岡県古賀市は、平成9年(1997年)糟屋郡古賀町が市制施行し、古賀市となりました。

玄界灘と白砂青松の美しい海岸線を有する玄界国定公園や緑豊かな犬鳴山系など海や山の自然に恵まれ、九州最大の都市「福岡市」に近接しているため、経済、流通、交通の面でも豊かな生活環境が整っています。

江戸時代、古賀市には「唐津街道」が通っており、現在の町川原に『青柳宿』と呼ばれる宿場があるなど、古賀市は昔から交通の要所となっていました。

また、計画的な工業団地の整備や企業誘致により、全国シェア上位を占める企業や世界的に卓越した技術力を持つ企業、ブランド力を持つ企業など有名・優良な企業が多数立地しています。

古賀市は、市制施行後も人口が増加しており、教育や子育て、健康、福祉などの環境の充実に取り組んでいます。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

自殺は個人の問題ではなく社会の問題であるということを踏まえ、悩みを持つ人に気づき、相談機関へつなぐことができるゲートキーパーの養成を行うと共に、相談機関の周知、そして医療機関との連携など個人を支えることができる社会の仕組みづくりを行う。

<具体的な取組み>

1. 啓発活動

(1) 古賀市オリジナルこころの健康づくり啓発リーフレット及びティッシュの作成・配布

◆平成22年度

- ・こころの健康づくりパンフレット「眠れてますか？」(全戸配布)
- ・こころの健康づくり啓発ティッシュ(講演会等で適宜配布)

◆平成24年度

- ・古賀市悩み事相談窓口一覧(全戸配布)

(2) 懸垂幕・横断幕の設置

◆平成22年度～

- ・自殺予防週間・自殺対策強化月間に合わせ市内公共機関に横断幕・懸垂幕の設置

2. こころの健康づくり講演会

◆平成22年度

① 不眠をきっかけにした講演会及びシンポジウム

・講演会

演題:「ライフスタイルの多様化とこころの健康～きちんと睡眠とれていますか?～」

講師: 宇都宮 健輔先生(産業医科大学医師)

参加者: 88名

・シンポジウム(シンポジストの体験に基いたお話)

演題:「こころの声～受診と発信～」

シンポジスト: 宇都宮 健輔先生(産業医科大学医師)

山鹿 肇雄(元公立高校校長)

森中 恵子(福岡女学院看護大学准教授、元九州電力保健師)

國崎 和子(古賀市健康づくり推進員)

コーディネーター: 川尻 正之(北九州いのちの電話事務局長)

② 子どものこころに焦点をあてた講演会

演題:「こころと命を支える絆づくり」～家庭の中から始めませんか～

講師: 内海 義彦(心理カウンセラー)

参加者: 66名

◆平成23年度

① こころの悩みやきずなについての講演会

演題:「こころをみつめて」～今の時代を生きるために～

講師: 川村 妙慶先生(僧侶・華道家)

参加者: 405名

② 子どものこころに焦点をあてた講演会

演題:「子どもとつなぐこころの架け橋」～子どものこころの発達～

講師: 松永 邦裕先生(福岡大学准教授)

参加者: 67名

3. ゲートキーパー養成講座

◆平成24年度より

市役所職員へ対しゲートキーパー養成講座を実施

講師: 奇 恵英先生(福岡女学院大学教授)

回数: 3回

受講者数: 延べ73名

内容: 市民からの相談を受けるための心構えと職員の余裕